

新築だより vol.32

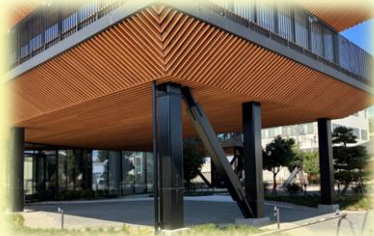
十全化学(株)様新社屋が竣工しました



▲執務室



▲外観の様子（夜）



▲ピロティ



▲開放感のある食堂



▲外観

私は、令和4年7月から令和5年3月の8カ月間、工事担当をさせて頂きました。途中からの乗り込みで、はじめは内装外装の仕様を把握することが大変難しかったです。内部はルーバー天井や左官仕上げの壁、木目セメント板の天井そして、外壁はALC外断熱に左官仕上げなど経験のない仕上がりに戸惑いましたが、建築設備様と十分な打合せを行い、理解することができました。

今回の物件では収まりなど事前に色々な事を検討し、進めていくチーム力の大切さを再確認することができました。細川リーダーまた、協力会社様とのチームワークで無事施工することができ、関係者各位には大変感謝しております。今後ともご指導よろしくお願いいたします。（工事部施工管理課・坂下）

3月に十全化学(株)様の新社屋が竣工しました。当社は、日本海建興(株)様のご指導のもと電気工事を担当させて頂きました。工事を始めるにあたり、事務所という用途の建物で天井ルーバー仕上げ、かつ、天井内もスケルトンにするということを知り、どう工事をすればよいか非常に悩みました。日本海建興(株)様の提案で、モックアップ（見本）を現場事務所内に作り、どうなるかの検証を行い、少しずつイメージを掴んでいきました。また、天井内が見えるということもあり、いつも以上に気を配りながら施工を進めさせて頂きました。また、照明デザイナー様の意向で、外部バルコニー上部のルーバーを照らす照明を設置し、ライトアップされたときには非常に綺麗に照らされており、うれしく思いました。あまり経験のない建物で、まだまだチャレンジするという気持ちを忘れず、施工管理の業務にあたるべきだと改めて感じることができました。また、関係者各位にご協力いただき、竣工できたことを深く感謝し、ご挨拶とさせていただきます。

（工事部施工管理課・細川）

㈱不二越様滑川事業所油圧事業部モーター第2工場



▲キュービクル式オープン型はメンテナンスを徹底的に考慮された電気室です



▲ケーブルラック天井の様子



▲電気室



▲生産工場内

私は2022年10月から2023年3月まで㈱不二越様滑川事業所油圧事業部モーター第2工場新築工事を担当させて頂きました。建築面積は9,347.52㎡・鉄骨造の大型工場新築は初めての経験となりました。現場着工と同時に工期が短く、建築工事よりも電気工事がメインであると鹿島建設様様の現場所長から工事内容の説明を頂きました。現場所長からは、現場に乗り込む際は各業務形態を細分化して、各々の役割分担を明確にして工程を進めてほしいと要望がありました。私は日々現場管理の対応に追われましたが、その中で鹿島建設様様への書類作成と工程打合せはかなり苦労しました。おかげ様で工程は遅れる事無く乗り切る事が出来ました。鹿島建設様様現場所長のご指導の下、協力業者様、関係者各位すべての方々の工期を間に合わせるという思いが一丸となり、無事故無災害で竣工を迎えることが出来ました。今回の施工では、私自身大変勉強をさせて頂きました。感謝致します。今後ともよろしくお願い致します。

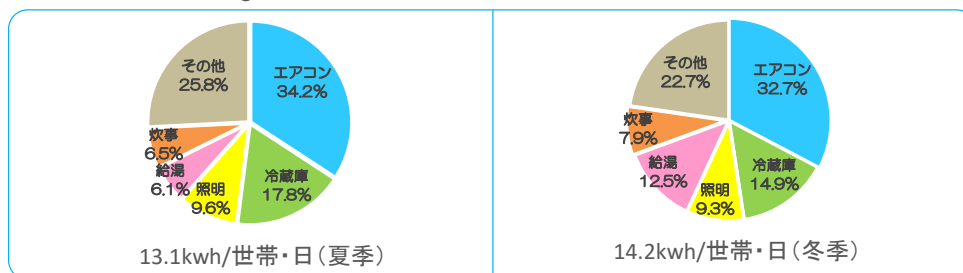
(工事部施工管理課・ハン)

今回の㈱不二越様滑川事業所油圧事業部モーター第2工場新築工事は、長さ:124.65m x 74.35m、高さ:水上12m、水下9.2mと非常に大きな建築物です。そして生産工場の為、機械負荷が非常に大きく設計図では総負荷容量9,361.5KVAもあり、約100回線幹線ケーブルを配線しなければならない建物でした。また、鉄骨建て方の完了予定が11月中旬で2か月半しか無い工程でした。まず私が手掛けた事は、機械電源の既設工場内での容量確認を施工設備担当者様と計測確認し、負荷の見直しを進めました。また、以前手掛けた事のあるキュービクル式のオープン型を提案し採用して頂きました。そのおかげで工期はかなり短縮できたと思います。どのように効率よく工程を進められるかが、一番の問題でした。管理体制を重点におき、専属の図面作成担当の配置、他業者との調整事項及び書類作成等優先に実施する職長の配置により、施工主、設計、元請業者、設備業者との綿密な調整が可能になりました。おかげで事故も無く、最初に計画したマスター工程通りに収める事が出来ました。資材調達、人員の確保等、関係者各位のバックアップ、協力業者様の全員の工期に間に合わせるという強い決意が一つにまとまり、工期内に収める事が出来た物件かと思えます。本当にありがとうございました。関係者各位には感謝申し上げます。

(工事部施工管理課・柿谷)

電気有効活用について

家庭における家電製品一日での電力消費割合



(資料：経済産業省HP「平成30年度電力需給対策広報調査事業の結果」より)

省エネ行動と省エネ効果は、下記の通りです。

例1・エアコン

冷やし過ぎに注意し、無理のない範囲で室内温度を上げる。

外気温度31℃の時、エアコン(2.2kw)の冷房設定温度を27℃から1℃上げた場合(使用時間：9時間/日)

年間で電気**30.24kWh**の省エネ、原油換算**7.62L**、CO2削減量**14.8kg** **約940円の節約**

冬の暖房時の室温は20℃を目安に。

外気温度6℃の時、エアコン(2.2kw)の暖房設定温度を21℃から20℃にした場合(使用時間：9時間/日)

年間で電気**53.08kWh**の省エネ、原油換算**13.38L**、CO2削減量**25.9kg** **約1,650円の節約**

例2・冷蔵庫

ものを詰め込み過ぎない。

詰め込んだ場合と、半分にした場合の比較

年間で電気**43.84kWh**の省エネ、原油換算**11.05L**、CO2削減量**21.4kg** **約1,360円の節約**

無駄な開閉はしない。

旧JIS開閉試験※の開閉を行った場合と、その2倍の回数を行った場合の比較

年間で電気**10.40kWh**の省エネ、原油換算**2.62L**、CO2削減量**5.1kg** **約320円の節約**

※旧JIS開閉試験：冷蔵庫は12分ごとに25回、冷凍庫は40分ごとに8回で、開放時間はいずれも10秒

少しの意識で省エネ効果が出ます。(工事部施工管理課・上沢)

おかげさまで45周年 4月1日 新栄電設は創業45周年を迎えました



新栄電設には愛がある

新栄電設は毎年1月の最終土曜日に全社員で意思疎通を図るため、経営計画発表会を行っています。今年の経営計画発表会は、1月28日(土)にANAクラウンプラザホテル富山にて開催しました。社長から昨年度の反省と今年度の会社方針&目標の発表があり、各部署の責任者から本年度の方針、部門目標などの発表がありました。今年度のスローガンは「人は本人の意思のみで動く チーム新栄はお客様のお役に立つことを生き甲斐に」です。今年は創業45周年の節目の年です。今までご縁のあったお客様に感謝するとともに、これからも思いやりと・気遣いをもって新栄電設の「愛」を提供させていただき、お客様のご要望にお応えし、喜んでいただけるよう、資質・技術の向上を継続的に行っていきたいと思います。そして、今年は創業45周年という事もあり、新栄電設と新友会(協力会社)が「チーム新栄」として一致団結して、お客様のご要望にお応えできるように、親睦を深める為の懇親会を創業日である4月1日(土)に富山電気ビルディングにて開催しました。今回は清田会長にも参加いただき、創業から現在に至るまでの「縁」や「運氣」にまつわる話と、社長からは新栄電設の歴史と、今後の目指すべき姿の話をいただきました。次は節目の50周年に向け、お客様への感謝を忘れず、一歩ずつ着実に歩んでいきたいと思います。

(総務部総務課・酒井)

近況報告

アフガニスタンにランドセルを寄付しました



▲集まった9個のランドセル



(写真：国際協力NGOジョイセフ (JOICFP) HP「思い出のランドセルギフト」より)

春が来て、進学されたお子様も多くいらっしゃると思います。我が家の3人兄弟の末っ子は、昨年、小学校を卒業し、役目を終えたランドセルが3個になりました。以前から、3人の子もたちが卒業したら、ランドセル寄付をしようと思っており、会社社員やお友達に声を掛けたところ、9個のランドセルが集まりました。2月に会社に海外輸送費を負担していただき、ジョイセフ「思い出のランドセルギフト」を通じて、アフガニスタンに寄付させていただきました。アフガニスタンでは長く続いた内戦の影響で、普通の教育を受ける機会を奪われた子どもが多く、その子どもたちが学校に行くきっかけになっているのが、このランドセルなのだそうです。また、今年もランドセルが集まれば、アフガニスタンの子どもたちに送りたいと思っています。

(総務部経理課・清水)

富山県中央植物園の桜 4月3日満開の様子です



▲ソメイヨシノのトンネル



▲ソメイヨシノ



▲枝垂れ桜と菜の花

(工事部施工管理課・上沢、松永)

4月1日恒例の春の美化活動をしました



▲会社付近の交差点の清掃



▲用水の清掃

当日4月1日は新栄電設の創業45周年となる節目の日であり、多くの社員と共に近隣のごみ拾いや、用水の清掃、道路の草むしりを行うことができました。新型コロナウイルスの感染拡大を受け以前より規模を縮小して実施をしてきましたが、今後は政府方針を受け、美化活動は従来通りに戻していきたいと考えています。節目の日に美化活動を通し、創業の精神である「役に立つ」活動ができた事を嬉しく思います。これからも地域へのボランティア活動と共に社員人材の育成を続けていきたいです。

(工事部施工管理課・江尻)

社長よりご挨拶

新栄だより第32号の発行にあたりご挨拶申し上げます。今回の新栄だよりではこの春に竣工した大型工事の施工物件を2件掲載させていただきました。工事の進捗にあたりご指導いただいた皆様に心より感謝申し上げます。また、施工担当者の声として工夫した点や、施工難度の高かったポイントについてご紹介させていただきました。今回の経験を糧に今まで以上にお客様の役に立つことができる組織体制を目指してまいります。気温の変化も激しい日々が続いております。皆様におかれましては体調の管理にご留意いただき、益々のご発展をお祈り申し上げます。

(代表取締役社長・清水)

発行元 株式会社新栄電設 〒930-0953 富山県富山市秋吉37-2 TEL: 076-491-5113 FAX: 076-491-5118 2023年5月25日発行

(編集・校正: 上沢・清水・酒井・柿谷・細川・江尻・ハン・坂下・松永・OB小林さん・その他全社員が関わってます)

新栄だよりは当社HPにて掲載しております。HPアドレス <https://www.shinei-densetsu.jp/>